

【事業目的】

2020年の東京大会の開催を契機として、オリンピック・パラリンピック教育の推進によるスポーツの価値や効果の再認識を通じ、国際的な視野を持って世界の平和に向けて貢献できる人材を育成する

（2020年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会の準備及び運営に関する施策の推進を図るための基本方針 - 平成27年11月27日閣議決定）

【筑波大学（全国中核拠点Aタイプ）の主な役割】

- ①スポーツ庁および関係団体により構成される「全国中核拠点会議」への参画、効果的なオリンピック・パラリンピック教育の方法を検討
- ②全国研修会(セミナー・ワークショップ)、各地域拠点における教員研修会および推進校等におけるオリンピック・パラリンピック教育の実践を支援
- ③地域一般の機運を高める公開フォーラム（各地域の教育実践の紹介、オリンピックやパラリンピアン等による講演会・体験会）を実施

①全国中核拠点会議への参画

- 全国中核拠点(大学)や関係団体等が実施している事業内容を共有し、全国のオリンピック・パラリンピック教育の効果的な普及方策を検討
- オリンピアン、パラリンピアン等の派遣調整など、各地域拠点が行うオリンピック・パラリンピック教育に対する支援方法を検討



②地域拠点への支援

全国セミナーの開催

地域拠点コーディネーターを対象に、オリンピック・パラリンピック教育の方法を伝達



地域での教員研修会支援
推進校の実践をサポート

講師派遣、グループワークの調整
実践事例集の作成、配布など



全国ワークショップの開催

地域拠点のコーディネーターが集まり成果と課題の共有、有効な教育実践を検討



③全国フォーラムの開催

各地域拠点の特徴的なオリンピック・パラリンピック教育実践の紹介、地域ゆかりのオリンピックやパラリンピアン等による講演会(または体験会)等を主な内容とする公開フォーラムを実施する。



【主なスケジュール】

